

公共事業事前評価箇所調書(令和3年度予算要望)

所管課:海岸防災課 担当班:災害砂防班

事業名	新川地区地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	南風原町新川地内				
事業の諸元	地すべり防止区域 A ≒ 1.11ha (指定予定) 抑止工(抑止杭 鋼管杭φ500×t16N≒40本(杭長≒12m)、吹付法枠(200×200)A≒540m ² 吹付法枠+アンカー工(法枠400×400・F20UA)A≒420m ² 、水路工(350×350) L≒136m				
事業の概要	当該地区は、地すべり危険箇所(箇所名:新川、箇所面積:1.11ha)に位置する。地区内の道路や構造物には地すべり活動による変状が確認されている。そのため、抑止杭及びアンカー付き法枠工等の抑止工や水路等の抑制工の対策を実施し、住宅、道路への土砂災害を未然に防止する。				
事業の必要性・効果等	<p><必要性等> 当該地区は、地すべり地形であり、地すべり活動による変状が確認されていることから地すべり対策を行う必要がある。また、当地区の斜面上下部は町道21号線、町道235号線及び下方には重要な幹線道路となる国道329号バイパス及び住宅や要配慮者利用施設が存在していることから地すべり防止対策を行うことにより、周辺住民の生命・財産を保全するとともに、道路機能の維持を図る。</p> <p><効果等> ①住民の生命・財産の保全。 ②公共施設(道路)の保全。</p>				
事業期間	事業採択	令和3年度	完了(予定)	令和6年度	
全体事業費	2.5 億円	補助・単独の別	補助	補助率	6/10
費用対効果	B/C = 14.8	総便益B	37.7 億円	総費用C	2.54 億円
		①一般資産被害軽減額	6.3 億円	事業費	2.12 億円
		②農作物被害軽減額	0.0 億円	管理費	0.42 億円
		③公共施設等被害軽減額	0.4 億円		
		④人的被害軽減額	31.0 億円		
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して」の中で「(4)社会リスクセーフティネットの確立」として、土砂災害の防災対策への取り組みが位置づけられている。</p> <p>沖縄21世紀ビジョン実施計画において、「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」として「土砂災害対策 地すべり対策事業」が位置づけられている。</p> <p>当地区は沖縄県における地すべり危険箇所(88箇所)に位置づけられている。</p>				
環境への配慮	法枠内の緑化を行い、現状を大きく改変しないような工法を選定する。				
関係する地方公共団体等の意見	平成30年1月に南風原町より早期の対策の要請を受けている。				
概要図(位置図)					